



バグダッドLO日々業務報告(12月27日1900)



区分	内容
1 警戒態勢等	(1) サマワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマワ及びバスラは[REDACTED]、バグダッド及びモスルは[REDACTED]、ラマディは[REDACTED]
2 特記事項	なし
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) コアリションLNOミーティング ・次回SNR会議に関する説明 1月20～21日に実施する予定(主要議題:2006年コアリションの構想について一軍から民間主導への移行) ・日本に開係する事項 コアリション作戦部長のサマワ訪問は1月5日に予定 ・モンゴルLNOによるモンゴルの国防政策の紹介
4 明日の予定	情報収集及び連絡調整
5 その他(備考)	[REDACTED] 物品受領のためクウェートへ(12月26～28日)

バグダッド日誌(12月27日)

○ 泳がした魚は……

- ・パレス周辺の池の水はユーフラテス川から引いている。池にはフセイン時代から飼われていたと思われる鯉がたさんいる。大きいのは、1mを超えるものもいる。池の周りには、米軍達が、ルアー(擬似餌)を使って釣っている。これでは絶対に鯉は釣れないが、彼らは気にしないのか平気で釣っている。
- ・私も、登壇日(日曜日)には時々つりをしている。先日も穏やかな気候だったので、久しぶりに釣りに行った。日本から送ってもらった練りエサと日本式の細い竿を使って釣っていると、「それは何だ?」と聞いてくる。「ジャバニーズ・スペシャルさ」と答えると、見物人が集まり始める。この日は副司令官(伊少将)も「それは釣れるのか?」と聞きに来て、私の後ろから見ていた。
- ・50cm位のものを3匹ほど立て続けにあげた。ビデオを撮り始めるのもいた。その後は、10～20cm位のが数匹続いた。これがいけなかった。その直後の「あたり!」に合わせ(また、小さい奴だろう……)と一気にあげようとした。これまでにない引き……(でかい!)と思ったが遅かった。糸が切れ逃げられた。
- ・悔しかった。この話を他国のLOにした。「きつと1mはあったと思う。」という私に、彼らは「イヤ、2mだろう」、「イヤイヤ3mあったかもしれない。」、「こいつらからからかってるな」と思っていると、カザフスタンLOが「でもそいつはまだ池で泳いでいるぞ……」と言。カザフ版「泳がした魚は……泳いでる!」

○ スペシャルID?

- ・食堂入り口で自衛官証の提示を求められた。先日のLO達との会話が思い出された。米兵の歩哨に自衛官証を見せたが、「持っていることを確認するだけ」という印象だった。当然、真実の確認などできるはずもない。
- ・この話を2カ国のLOにした。やはり怒り出した。「日本人にでもそんなことするのか!」、「奴らは自分がやっていることの意味が分かってない。」、「(MNFI発行のパレスへの入門証を示しながら)「これは何だ!」、「俺らを馬鹿にしている」等々ひとしきり文句を言っている。
- ・MNFI発行とはいえ、実質は米軍が発行している各種施設への立ち入り証のようなものである。歩哨達も、この立ち入り証を持っている米軍の中佐に、重ねて米軍の身分証の提示を求めることはしないだろう。彼らの怒りは、「自分の国の名前も場所も言葉も知らない米兵に、自分の存在を疑われている。」と感じるからだろうと思う。
- ・「いいものを見せてやろう」某国LOがウインクしながらIDのようなものを私にみせる。見せられたIDのようなものには彼の写真が貼付され、次のような記述があった。「この者には、食堂、PX、ジム等の厚生施設の使用を認める。」
- ・〇〇国〇〇軍参謀長……「これって……」と驚く私に、「これに文句つけてきたら、ほめてやるよ。」(ウインク!)
- ・やられたら、やり返す的な発想だが、彼の米軍への対抗意識はやはり相当強いことを感じた。